

ふるさと 宮崎の想いを心に、前へ。

地方（宮崎）があって、都市（東京）がある。地方創生の貫徹。

地方創生の推進に努力します。宮崎で頑張っておられる皆様が意欲的に仕事ができる環境づくりを進めます。

北朝鮮問題への対応に全力を尽くします。国民の平和・安全を守り抜く外交の最前線へ。

外務大臣政務官として、多くの困難な国際交渉に臨んできました。必ず国民の皆様が安心して暮らせる毎日を取り戻します。

次世代に責任を持てる財政政策を。

消費税の用途を見直し、子育て世代への投資と社会保障の安定化等にバランスよく充当しながら、財政再建の道を目指します。

現場に即した農林水産業政策を。

農林水産物の輸出の拡大並びに人材育成の環境整備、産地パワーアップ事業などニーズに合った取り組みを進めます。

健やかに、安心して暮らすために。

子育てしやすい環境、高齢者の方が豊かに暮らせる社会づくり、看護・介護人材の確保、処遇改善に努めます。

地方（宮崎）の暮らし、地域の社会インフラを守る。

特色と魅力ある農林漁業の振興、中小企業・物流対策を進めます。南海トラフ地震に備えた地域防災の充実を図ります。

観光は日本の基幹産業。

国際線の活性化、クルーズの拡充を図ります。高千穂への観光客を県内全域に回遊させる仕組みを構築します。



たけい しゅんぺい 俊輔 すけ

自民党公認

宮崎生まれ、宮崎育ち。

主なプロフィール

- 1975 宮崎県宮崎市生まれ
- 1990 宮崎市立大塚中学校卒
- 1993 宮崎県立宮崎西高校卒
- 1997 中央大学文学部史学科卒 宮崎交通株式会社入社
- 2005 早稲田大学大学院修了
- 2007 宮崎県議会議員当選
- 2011 自由民主党宮崎県第一選挙区支部長就任
- 2012 衆議院議員総選挙当選
- 2014 衆議院議員総選挙当選（二期目）
- 2016 外務大臣政務官就任

市民と野党の共闘を広げ 憲法とくらしを守ります



うちだ しずお 内田 静雄

経済改革

① 税金の集め方の改革—消費税10%への増税を中止し、富裕層や大企業に応分の負担を求めます。  
② 予算の使い方の改革—社会保障、若者、子育て、教育中心の予算にきりかえます。  
③ 働き方の改革—8時間働けばふつうに暮らせる社会をつくりたい。  
④ 地域経済の改革—農業の再生をめざします。大都市と地方などの格差を是正します。

北朝鮮問題

北朝鮮問題の「対話による平和的解決」 対話を否定し、日米軍事一体化、安保法制発動、大軍拡を進めようという安倍政権の態度は、きわめて危険です。北朝鮮の核・ミサイル問題の解決の唯一の道は、経済制裁の強化と一体に「対話と交渉による平和的解決」の努力をはかることです。

暴走政治

国政私物化、憲法破壊、民意踏みつけ 暴走政治に退場の審判を 「森友・加計疑惑」隠し、「安保法制」「共謀罪」の強行。国民の民意を踏みつけ国政私物化の安倍暴走政治は許せません。市民と野党の共闘を広げ、暴走政治ストップへ全力をあげます。

原発

川内原発ストップ、再稼働せずに「原発ゼロ」の日本へ 川内原発で事故が起これば、宮崎への被災は避けられませんが、太陽光など再生可能エネルギーの活用で安全、安心のふるさと宮崎をつくりたい。

核兵器

唯一の被爆国として 核兵器禁止条約に参加する政府を 人類の歴史上初めて核兵器を違法化した核兵器禁止条約に、唯一の戦争被爆国・日本の政府が背を向けた。核兵器禁止条約は、すでに50の国が署名し、条約が来年に発効することは間違いありません。核兵器禁止条約に参加する政府をつくりたい。

憲法

憲法9条を守ります 憲法違反の安保法制＝戦争法の廃止を 憲法9条を守ります。安倍首相が主張する9条改憲は、自衛隊の憲法上の追認にとどまりません。憲法違反の安保法制を合憲化し、無制限の海外での武力行使に道を開くことにその本質があります。「共謀罪」を廃止し、立憲主義を取り戻します。



日本共産党の躍進で 安倍暴走政治に退場の審判を

比例代表選挙は 日本共産党へ

お知り合いに 支持を広げてください



最高裁判所裁判官国民審査

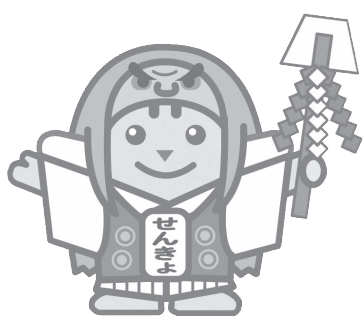
衆議院議員総選挙

投票日 10月22日

投票時間 午前7時～午後8時（一部投票所を除く。）

【期日前投票】 10月11日（水）～10月21日（土）

投票時間 午前8時30分～午後8時（一部投票所を除く。）



宮崎県選挙管理委員会・明るい選挙宮崎県推進協議会

希望の党 さらば 政治 希望ある未来へ。

特権を持つ政治家。一部の既得権益者や団体が得をする政治形態。これでは国民の暮らしが良くならないのは当たり前です。政治本来の在り方に立ち返り、ムダは排除し、既得権益は打破しなければいけません。

外山いつきは、現役世代の代表として、子ども達の未来のために今できること、今やらなければいけないことを全力で取組んでまいります。

身を切る改革

国民には税を含めた様々な負担を押し付けているのに、政治家の高額な報酬等の厚遇は未だに改善されていません。消費税増税時の約束である国会議員定数の大幅削減に関しては実施されないばかりか、議論すらされていません。一院制を含めた国会議員定数の大幅削減、議員報酬の削減等、「身を切る改革」で生み出した財源を将来世代への投資へと回します。

消費税増税を凍結!

増大する社会保障や財政再建を考えれば将来の消費税増税は考えなければなりません。しかしながら、景気回復を待たずして消費税増税を行えば経済に深刻なダメージを与えてしまいます。アベノミクスで大規模な金融緩和や財政出動を行いながら、2014年の消費税増税以降、景気は後退局面に入ろうとしております。外山いつきは2012年の時点で消費税増税による消費の落ち込みを予見し、宮崎で唯一、消費税増税法案に反対票を投じました。景気を冷え込ませる消費税増税をストップさせます。

教育無償化

子ども達は国の宝です。我が国が持続的に成長する為には少子化による深刻な人口減少を食い止めなければならないと同時に、過去最悪を記録する「子どもの貧困」に歯止めをかけなければいけません。家庭や労働の環境が劇的に変化している中、日本の将来の為に子どもを生き、育てやすい環境を構築する為に子ども達に光をあてた政策を推進します。「教育の無償化」を実現し、日本を世界に誇れる「教育大国」にします!



希望の党公認 外山 いつき

外山いつき

プロフィール  
前参議院議員。  
1976年4月生まれ。宮崎県日南市出身。幼少期は宮崎市赤江で育つ。英国立エセックス大学社会学部社会学科中退。  
参議院議員秘書を経て、2007年に参議院宮崎選挙区で全国最年少当選。参院予算委員会委員、沖繩・北方特別委員会理事、参院国対副委員長などを歴任。  
与党時代は、陳情要請対応本部の副本部長を務め宮崎をはじめ九州各県の予算獲得に尽力。  
家族構成 妻・小学生の長男・幼稚園児の長女の四大家族。